

性的な言動に困っています…

⇒過剰に反応せず、うまくかわす方法を
考えましょう

とよさと病院 認知症疾患医療センター

【 認知症の人の状態 】

衝動的な行動を抑えるのは、脳の前頭葉の働きで、この前頭葉が障害されると、衝動を抑制できなくなります。認知症の人は前頭葉の働きが弱まっていて、理解力や判断力も低下しているため、その場ではいけない行動かどうか判断が付きません。恥ずかしさや遠慮がなくなり、卑猥な言葉を使ってしまうこともあります。

認知症の人は、記憶が現在から過去へ遡って失われていく“記憶の逆行性喪失”のため、本人の記憶が自分の若いころに戻っているとしたら、異性への関心も同じように戻っていると考えることができます。お嫁さんの顔もわからなくなります。

ただし、必ずしも相手に直接的な行為を求めているわけではありません。本当の性欲というよりも、**不安や寂しさが原因**（認めてほしい、かまってほしいなど）で性的な行動をとる人もいます。また、男性だけでなく、女性も同様の行為がある人もいます。

高齢者の性的な言動に対して、“いやらしい”などと偏見を持つ人がいますが、**高齢でも性欲は自然な欲求**であることに変わりありません。むしろ、食と同様に、生きる意欲が失われていないということです。過剰に反応せず、うまくかわす方法を考えましょう。

本人は、悪いことをしている意識はないので、嫌悪感をあらわにして強い態度で拒否すると、混乱し暴力的になることがあります。拒否された不快感も残像として残ります。



ケアマネージャーさん

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P118-119

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P86-87

2022.6作成

【 対応方法 】

①**軽いスキンシップ**で落ち着くこともあります。しっかり目線を合わせて、「わたしは〇〇ですよ。お義母さんと間違わないでくださいよ！」と明るい調子でたしなめてみてください。

②触ろうとしてきたら、**手を握り返してやんわりたしなめる**、TVをつける、窓の外を見せるなどして、体から興味をそらすよう、対処しましょう。**散歩やデイサービス**など、**外出**するのもいいでしょう。大抵、**行動は数か月程度で収まります**。

③性的な嫌悪感から、認知症の人に近寄るのも嫌になり、介護放棄に繋がることもあります。家族に相談できずに悩んでいる人や、信じてもらえない人などは、**ケアマネージャー**に相談してみましょう。淡々と対応してくれる分、家族よりも楽に話せます。

④介護施設などで周囲の注目を集めようとして、わざと卑猥な言動をとる人もいます。人前で性器を露出する例もあります。**かまってもらうことが嬉しいので、やめさせようとするとかえってエスカレートします**。**過剰に驚いたりせず、気持ちが落ち着くまで様子を見るのも一つの手です**。

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P118-119

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P86-87

ケアのコツ…本人に影響を与える要因～介護者の要因～



- ・介護者ペースである（本人のペースを考慮しない）
- ・声かけが早口である
- ・カタカナ語や専門用語をよく使う
- ・本人が訴えていることを軽くあしらう
- ・声もかけずにいきなり介助する
- ・こわばった表情で介助する
- ・態度、服装、姿勢、声の大きさ、質問の仕方、言葉遣い、表情、目線 など

参考文献：ベホス, “理由を探る” 認知症ケア, 株式会社メディカル・パブリケーションズ, 2014, P129-133



医療法人社団つくば健仁会

とよさと病院

認知症疾患医療センター

TEL 029-847-9581

2022.6作成